

2019年8月6日

## DENSO KOBELCO SARD LC500 第5戦富士、 まさかの接触リタイアに終わる

SUPER GT 第5戦富士レポート



### 2019 SUPER GT 第5戦「FUJI GT 500mile RACE」(8/3-4)

#### 富士スピードウェイ(1周4.563km)

入場者数：予選22,500名、決勝38,100名 合計60,600名

8月4日(日)、シリーズ後半戦への折り返しとなるSUPER GT第5戦「FUJI GT 500mile RACE」の決勝が行われ、13番グリッドから勇猛果敢に挽回を目指していったDENSO KOBELCO SARD LC500は、スタート担当のヘイキが序盤から順位を上げていき6位に浮上、38周目から交代した中山も好ペースで順位を上げていく頑張りを見せた。72周目から再びヘイキがドライブし、実質5位まで浮上する猛追。セーフティカー(SC)解除のリスタートで更に順位を上げるべく積極的に攻めていった矢先の81周目、混戦の中でT10進入にて前走車と接触。翌周ピットに戻ってきたが右フロント回りのダメージが酷く、無念のリタイアとなった。表彰台を狙える決勝での速さがあっただけに非常に残念な結果となった。

今回まさかのノーポイントに終わり、ドライバーポイントではランキング9位(計20点)、チームポイントでもランキング9位(計32点)に後退となった。次戦、雪辱を果たすべく臨む第6戦は9月6日(土)・7日(日)にオートポリスにて開催される。

#### ■事前情報

シリーズ前半戦ではあと一歩で表彰台といった戦いを繰り広げているDENSO KOBELCO SARD LC500。約1ヶ月のインターバルを経てシリーズは後半戦へと突入。梅雨もようやく明け、酷暑が予想される真夏の開催となる第5戦は富士スピードウェイが舞台。今季2回目の開催となる富士、公式予選はノックアウト方式(Q1、Q2)で行われ、決勝は13時30分スタートの500mile(177周：約800kmで5時間弱)のシリーズ最長となるロングディスタンス。ピットストップは4回が義務付け。ウェイトハンディは現獲得ポイントの倍となる40kgを搭載。



サードは、1994年当時全日本GT選手権(JGTC)にスーパーで参戦して以来、この富士で記念すべきGT参戦200戦目を迎える。これまで25年間199戦で30名のドライバー達がドライブし、PPが7回、表彰台32回獲得し、勝利数は8勝。2016年には念願のシリーズチャンピオンも獲得した。ここ数年は毎年必ず1勝を挙げていることから、このGT参戦200戦目の記念すべき富士を今季初勝利で飾りたいところ。5月GWの第2戦では最後まで表彰台争いを展開した富士。今回得られるポイントも通常より多く最大で26点であることから、シリーズ後半での形勢逆転を狙うための最大のヤマ場。また今季許される2基目のエンジンを投入。暑く長いレースで、非常にタフな戦いを強いられると予想されるが、チーム一丸となって勇猛果敢に勝利を目指していった。

## ■公式練習走行

3日（土）午前中の公式練習走行は、真夏の日差しが照りつけ、気温28度/路面温度31度の快晴の中で8時50から混走セッションが開始された。いつものセッション入りどおりに、まずはヘイキがソフト系ドライタイヤを装着して、タイヤの評価ならびにクルマの確認を11周確認。続いてハード系タイヤを装着して5周確認。17周目から中山がヘイキが確認した2種類のユーズドタイヤを装着してクルマとタイヤの確認を行った。予選をどちらのタイヤで行くかの選択が難しいところであったが再度31周目から中山がソフト側のタイヤのライフを念入りに確認した。この混走セッションはヘイキがマークした1分30秒506の8番手に。10分間のGT500単独セッションでは、そのまま中山がアタックシミュレーションを実施。LC500勢の最上位となる1分29秒955の6番手と、まずまずのタイムをマークした。公式練習走行では42週の走行、続いてのサーキットサファリで12周走行とトータル54周を走行して、Q1に向けて良いデータを取れる結果となった。



## ■公式予選

### ■Q1：中山が奮闘も13番手に

3日（土）Q1開始時点で気温32度/路面温度39度に。体感的には暑さが夕方近くになって若干和らいだが路面温度は高いままのコンディション。残り7分でコースイン。今回Q1アタッカーを任された中山は、ソフト系タイヤを選択。丁寧にウォームアップ周回を重ね、4周目後半にベストな状態になったことからアタックに入った中山はセクター1で22秒半とストレートから1コーナー進入にかけて若干遅れてしまう。セクター2で27秒台でまだ通過圏内ペースであったが、セクター3で39秒半台と他車に離される結果に。ここでチェッカーとなり、奮闘をみせたものの13番手となった。クルマのフィーリング的には悪くはないが、他車に差をつけられた原因の究明を決勝までに確認し対策を行うこととなった。



## ■決勝

### ■ウォームアップ走行

4日（日）は、11時55分から開始されたスタート前20分間のウォームアップ走行は、気温32度/路面温度48度と路面温度が高いコンディション。今回スタート担当のヘイキが決勝用タイヤ2セットをまずは皮むき。次に決勝スタートタイヤと同じ種類のユーズドタイヤに交換してタイヤの摩耗を確認するため計10周を走りチェッカー。ピットに戻った際に中山とピット作業の確認を行った。トータル10周を走行し1分32秒293の10番手タイムで決勝への準備を整えた。

### ■決勝レース



### 第1ステイント：ヘイキが期待に応えるポジションアップ

4日（日）10分遅れとなった13時40分決勝スタート時点は灼熱の日差しが照りつけ気温33度/路面温度51度に。13番グリッドから勇猛果敢に挽回を目指していったDENSO KOBELCO SARD LC500を駆るヘイキが、整然と切られたスタートから後方から虎視眈々とチャンスを窺う走り徐々に順位を上げていき、8位争いをするまで浮上。32周目には6位にポジションアップと期待に応える、いつものがらのポジションアップしていく走り。トップとの差も20秒以内としていた。

## 第2ステイント：中山が好ペースでポジションキープ

素早いピット作業で38周目から中山を送り出す。セオリーの4ストップの戦略の予定で、中山も好ペースを守って順位を上げていく頑張りを見せる。このステイントでは穏やかにレースが流れていき各車淡々と走行する展開となった。DENSO KOBELCO SARD LC500は燃料を積んだ状態での決勝ペースは良く、予選であった他車との格差は見られず、決勝までうまくクルマを仕上げられた証明となり、順調にいけば表彰台も狙える状況で、この先のレース展開が楽しみとなるステイントとなった。そして、交代タイミングで38号車のアクシデントが発生。セーフティカー（SC）導入が予見されたため、直ぐに中山を呼び戻した。

## 第3ステイント：ハイキがまさかの他車接触リタイアに

72周目からハイキがドライブし、実質5位まで浮上する猛追。交代した直後の73周目に予想通りにSCが導入され、ここから波乱が始まった。SC解除の80周目のリスタートで更に順位を上げるべく積極的に攻めていくハイキ。この周は他者同士の接触など荒れた様相となり、そこはうまくすり抜けたハイキであったが、翌81周目も接近戦で鏝迫り合いが続いていく。そのまま、各コーナーで混乱が続く中、T10ダンロップコーナー進入にて前をいく19号車と接触してしまう。何とか1周走ってピットに戻ってきたが右フロント回りのダメージが酷く、修復が困難のため無念の82周でリタイアとなった。表彰台を狙える決勝での速さがあっただけに非常に残念な結果となった。



今回まさかのノーポイントに終わり、ドライバーポイントではランキング9位（計20点）、チームポイントでもランキング9位（計32点）に後退となった。次戦、雪辱を果たすべく臨む第6戦は9月6日（土）・7日（日）オートポリスにて開催される。



### ■ハイキ・コバライネン

「良いレースを展開していただいただけに残念な結果になってしまった。あの時はチャンスで、ほんの少しブレーキングが遅らせてコーナー立ち上がりでのポジションアップ狙っていたが、前のクルマのブレーキングが思う以上に早く当たってしまった。自分のミスでチームの皆に申し訳ない。また暑さの中で懸命に応援してくれたファンのためにも、次のオートポリスでは、この悔しい気持ちを晴らすべく頑張りたい」



### ■中山 雄一

「予選からはクルマを決勝に向けて仕上げてくれたおかげで、決勝中のペースは悪くなく順調にレースを進めていましたが残念な結果になりました。残りのオートポリス、SUGO、もてぎの3戦は、力強いレースができるよう翌週のSUGOテストを有意義なものにしたいです。今回も暑い中で、応援頂きありがとうございました。次にご期待ください！」



### ■監督 才木 祐二

「暑い中でのご声援ありがとうございました。今回は多くのポイントを持ち帰ろうと臨んでいましたが、少しの判断ミスでリタイアと残念な結果になってしまい、大変申し訳ございませんでした。残り3戦に向けて、もっとドライバーに良いクルマを用意してあげられるように次に向けて準備を進めていきます」

## Qualifying Result

| Pos. | No. | Car                      | Driver          | Time      | WH |
|------|-----|--------------------------|-----------------|-----------|----|
| 1    | 23  | MOTUL AUTECH GT-R        | 松田 次生/R.クインタレッリ | *1'28.519 | 49 |
| 2    | 3   | CRAFTSPORTS MOTUL GT-R   | 平手 晃平/F.マコヴィツキ  | *1'28.649 | 32 |
| 3    | 19  | WedsSport ADVAN LC500    | 国本 雄資/坪井 翔      | *1'28.845 | 35 |
| 13   | 39  | DENSO KOBELCO SARD LC500 | H.コバライネン/中山 雄一  | 1'29.780  | 40 |

\*タイムはQ2ベスト 天候：晴れ、コース：ドライ

## Race Result

| Pos. | No. | Car                      | Driver          | Time/Diff   | Laps |
|------|-----|--------------------------|-----------------|-------------|------|
| 1    | 6   | WAKO'S 4CR LC500         | 大嶋 和也/山下 健太     | 4:52'55.248 | 175  |
| 2    | 1   | RAYBRIG NSX-GT           | 山本 尚貴/J.バトン     | +1.236      | 175  |
| 3    | 23  | MOTUL AUTECH GT-R        | 松田 次生/R.クインタレッリ | +10.249     | 175  |
| R    | 39  | DENSO KOBELCO SARD LC500 | H.コバライネン/中山 雄一  | -93Laps     | 82   |

天候：晴れ、コース：ドライ、4.563km×175Laps(18:40チェッカー)

## Drivers Ranking

| Pos. | No. | Driver     | Total |
|------|-----|------------|-------|
| 1    | 6   | 大嶋/山下      | 60    |
| 2    | 37  | 平川/キャシディ   | 44    |
| 3    | 23  | 松田/クインタレッリ | 38.5  |
| 9    | 39  | コバライネン/中山  | 20    |

Point standings after Rd.5

## Team Ranking

| Pos. | No. | Team            | Total |
|------|-----|-----------------|-------|
| 1    | 6   | LEMANS          | 73    |
| 2    | 37  | Kp.TOM'S        | 59    |
| 3    | 23  | NISMO           | 47.5  |
| 9    | 39  | LEXUS TEAM SARD | 32    |

Point standings after Rd.5

## Partners



## 情報参照先

|                  |   |
|------------------|---|
| ● サード公式サイト       | : <a href="http://www.sard.co.jp">http://www.sard.co.jp</a>   |
| ● SARD Facebook  | : <a href="https://www.facebook.com/SARD.Corporation">https://www.facebook.com/SARD.Corporation</a>   |
| ● SARD Twitter   | : <a href="https://twitter.com/LEXUSRACINGSARD">https://twitter.com/LEXUSRACINGSARD</a>               |
| ● SARD Instagram | : <a href="https://www.instagram.com/lexus_team_sard/">https://www.instagram.com/lexus_team_sard/</a> |
| ● SUPER GT       | : <a href="http://supergt.net/jp/">http://supergt.net/jp/</a>   |

■ 本リリースに関するお問い合わせ先：チーム広報担当：宮本 e-mail: [media@sard.co.jp](mailto:media@sard.co.jp)

**SARD**

株式会社 サード

〒473-0914 愛知県豊田市若林東町上外根50  
TEL. 0565-53-1166 FAX. 0565-52-5482

[www.sard.co.jp](http://www.sard.co.jp)